

チェコインベスト (ビジネス・投資開発庁)

高周波熱錬株式会社 (ネツレン)

プラハに合弁会社を設立

2012年12月、高周波熱錬株式会社(ネツレン)は株式会社メタルワンと共同で、プラハ市に Neturen Czech s.r.o. を設立することを公式発表しました。当合弁会社では、自動車向け冷間成型用の高強度ばね鋼線(ITW)の製造・販売を行う予定です。工場はプラハより北西部にあるウスティ州ジャテツ工業団地内に設置。敷地面積約54,000平方メートル、建屋面積約5,500平方メートル、従業員約20名の規模で2014年4月より生産を開始し、3年以内に年間販売量20,000トンを見込んでいます。Neturen Czechの総投資額は約16億円(出資率:ネツレン90%・メタルワン10%)で、代表者にはネツレン常務取締役の溝口茂氏が就任されました。

ネツレンとメタルワンは、これまでに中国・米国にも同様の製造・販売会社を共同設立していますが、欧州への投資は今回が初めて。欧州の自動車部品メーカーによるITW需要の増加に伴い、さらなる拡販も予定しています。会社設立にあたっては、チェコインベスト(プラハ本庁および東京オフィス)も、投資情報提供、工業団地紹介、視察同行といった様々なサポートを行いました。

投資優遇措置改正に伴い

投資プロジェクトが急増

昨年7月に投資優遇措置の改正が行われて以来、チェコインベストは半年で総投資額929億円に上る41件の投資プロジェクトを受理しました。これは、2012年前期(1月~6月)の申請数と比べて34件多いばかりか、2011年より5件、2010年と比べても27件多く、投資優遇措置の改正が功を奏したといっても過言ではありません。また、41件中39件が既存工場の拡大プロジェクト

(Skoda Auto、Saar Gummi Czech、Trinecke Zelezarny、Jotun Powder Coatings等)であったことから分かるように、チェコは長期にわたる投資先としての座を確立しつつあると言えます。

当改正により、法人税の免除期間が5年から10年に延長され、新規雇用創出や職業訓練に対する補助金制度の条件が緩和されただけでなく、投資額の大きなプロジェクトに関する補助も追加されました。これに伴って、最近では製造業のみならずR&Dへの投資も積極的に行われ始めています。業界別では自動車、プラスチック、ゴム、機械工学、金属加工といった分野の成長が顕著で、ウスティ、モラヴィア・シレシア、中央ボヘミア、オロモウツといった失業率の高い地域への投資も多く見られます。

お問い合わせ・ご質問は、チェコインベスト(駐日代表 ノヴァーコヴァー・エリシカ、〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー15階、TEL: 03-5456-5283、Email: tokyo@czechinvest.org、Web: www.czechinvest.org)まで。